

【施策評価調査】

施策名	5-5-5	スポーツイベントの充実		125	施策目的 スポーツは、人生をより豊かにし、充実したものとするとともに、人間の身体的・精神的な欲求に応える世界共通の人類の文化の一つです。心身の両面に影響を与えるスポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や心身の健全な発達に必要不可欠です。住民が気軽にスポーツを楽しみ、スポーツを通じて交流の輪を広げ、地域が活性化する環境を整えます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部生涯学習課	担当	社会教育担当		施策内容 町民のスポーツ実施率向上や参加者増加を目指し、競技団体や地域と連携しながら、スポーツレクリエーション大会やマラソン大会などのスポーツイベントの充実を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	特になし	リーダー	横塚恵子		

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：スポーツイベント参加者数(人)	平成16年度実績	計画	8,800人	9,200人	9,600人	10,000人	10,500人
	8,341	実績	9,100人	9,431人	10,591人		
指標：		計画					
指標：		実績					
指標：		計画					
指標：		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	2,495,000	3,889,000	3,786,000		
	決算	2,589,317	3,656,247	3,619,600		

事務事業事後評価 20年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)
町民体育祭開催事業費	当初 1,200,000	町民体育祭の参加者(球技大会を含む)	A	公民館単位の対抗戦をとることで、地域の団結力や連帯感を深めることができ、日頃希薄になりがちな地域の付き合いを深めるきっかけづくりとなった。 今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続
	決算 1,200,000	延べ8,104人 / のべ9000人		
各種教室開催事業費	当初 506,000	参加人数	A	定期的な教室を開催することで、スポーツを楽しみながら、健康増進と体力づくりを心掛け、運動習慣の定着に結びつけることができた。また、幅広い年代の人たちがニュースポーツを通じて、地域や世代間を超えた交流ができた。 今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続
	決算 339,600	延べ849人 / のべ800人		
元気あつぽマラソン大会交付金	当初 2,080,000	参加者数	A	昨年より多くの参加が得られ、健康意識や体力の向上が図られた。競技者間の親睦を深め、町のイメージアップに繋げることができた。また、20年度はFMとちぎ放送局の協力もあり、昨年以上に参加者も多く、元気あつぽハーフマラソン大会兼長距離走大会の知名度を県内外に広めることとなった。 今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続
	決算 2,080,000	1,638人 / 1650人		
	当初			今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続
	決算	/		今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続
	当初			今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続
	決算	/		今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続
	当初			今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続
	決算	/		今後の方向性(自己評価) 継続 今後の方向性(総合評価) 継続

施策事後評価 20年度の検証

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	継続的に施策展開されていると評価する。 ただし、後期計画策定に向け、単発的に事業を行うのではなく、他の分野の施策などと抱き合わせにより、一層の成果をあげていくなど、手法を改善すること。生涯学習は自由な発想が可能な分野であるので、他課や関係機関、NPO団体等との連携を図った施策展開(他の施策との統合などを視野に入れた)を検討すること。 また、それに併せた施策指標も見直すこと。	各種施策事業は、町民のニーズに応えられるよう他種目、幅広い年齢層を対象に体力づくり教室を実施し、町民の健康増進とスポーツの普及を図ることとする。 また各種教室の開催にあたっては、健康づくりの視点から保健センター・健康福祉課との連携を図りながら、健康・スポーツの両面から協働で開催する方向で検討していく。また参加者の満足度はどうなのか確認し、今後の事業にいかしていく。 スポーツを通じて、町民一人ひとりの健康で豊かな充実したライフスタイルが作りだされ、その成果として人づくりや地域づくりにつながられるよう取り組んでいきたい。
総合評価	継続的に施策展開されていると評価する。 ただし、後期計画策定に向け、単発的に事業を行うのではなく、他の分野の施策などと抱き合わせにより、一層の成果をあげていくなど、手法を改善すること。生涯学習は自由な発想が可能な分野であるので、他課や関係機関、NPO団体等との連携を図った施策展開(他の施策との統合などを視野に入れた)を検討すること。 また、それに併せた施策指標も見直すこと。	